

会議録

会議名	令和7年度第4回北広島市スポーツ推進審議会
日時	令和8年3月12日(火) 午後6時30分から午後7時30分
会場	3階会議室
出席委員	寺田会長、佐藤副会長、柳沼委員、伊藤委員、碓井委員
市出席者	杉原課長、佐藤(仁)主事、佐藤(玄)主事

1. 開会 (午後6時30分)

「委員の過半数が出席していることから、審議会が成立していること」を確認した。

2. 会長あいさつ

3. 会議録署名委員の選出

4. 協議事項

①北広島市スポーツ振興計画の中間見直しについて

(1) 資料に基づき事務局から説明

(2) 質疑応答 なし

②北広島市公共施設等個別施設計画について

(1) 資料に基づき事務局から説明

(2) 質疑応答

A 委員 西部小学校と西部中学校が義務教育学校となったら、輪厚児童体育館の機能は西部中学校に移るのか。

事務局 西部中学校の今後の運用方針については、確定していない。

西部中学校跡地の利用ニーズは高いが、輪厚児童体育館と同じような機能で使用できるか定かではない。

もし輪厚児童体育館を継続して使用するとなれば、改修は必要になってくると思われる。

A 委員 いつ頃から小中一貫教育になるのか。

事務局 令和11年度頃だと思うが、確定はしていない。

A 委員 輪厚児童体育館は照明が暗く、バレーボールをしているとボールが見えにくい。何年もこの状況が続くのであれば、改修は必要なのではないか。

事務局 照明が暗い等の体育館の不具合は把握しているが、市全体の公共施設で見ると改修の優先順位は高くない状況である。そのため、当面は現状の体育館を使用してもらうことになる。

B 委員 資料の中で、建物の劣化状況はハード面とソフト面どちらに当たるのか。

会議録

- 事務局 65 ページの「3.管理運営状況」のハード面に該当する。
- B 委員 体育館備品はソフト面に該当するのか。
- 事務局 ソフト面とは利用者数が該当する。例えば、輪厚児童体育館であれば「方針検討（Ⅱ）」が該当するが、これは利用者のニーズと建物の状況によって決まってくる。仮に建物が劣化していたとしても、利用者が少なければ、状況に合った診断結果となる。
- C 委員 体育館備品は診断結果に反映されているのか。
- 事務局 診断の調査項目に入っていない。
- B 委員 体育館備品が劣化した場合はどうするのか。
- 事務局 個別案件になるため、備品の劣化状況を見て入れ替えていく。
- C 委員 備品の要望先はスポーツ振興課で良いのか。
- 事務局 問題ない。
- A 委員 輪厚児童体育館や西の里ファミリー体育館は市外利用者が多く、市民が使えないことが多い。西の里ファミリー体育館はバレー用具が揃っているため使いたい、市外団体も入っており、予約が取りにくい状況である。今後、料金改定の予定はあるのか。
- C 委員 市内と市外で利用料金等の差を大きくした方が良いのではないか。
- 事務局 協議事項 3 で説明するが、10 月に料金改定をする予定である。（「協議事項 3」資料の「7.スポーツ施設の管理と整備」を基に説明）
- C 委員 予約受付開始は市内と市外で同じなのか。
- 事務局 総合体育館と地区体育館で予約受付開始時期は異なるが、どちらも市内の方が先に予約が取れる。
- A 委員 総合体育館で一般開放している競技は、サブアリーナで団体予約ができないのはなぜか。今後取扱いが変わる予定はないのか。
- 事務局 市の体育館は一般開放を基本としている。その考え方に基づいて、メインアリーナで行える種目以外をサブアリーナで使用できるようにしている。
- A 委員 一般利用者と小学生と一緒にバレーボールを行うのは用具やコートも異なり、危険でもある。そのため、希望として、サブアリーナが空いているのであれば予約が取れるようになればいいなと思う。
- 事務局 総合体育館開館以来、同じ取扱いで運用しているため、時代に合わせて見直しをしていく必要はあると感じている。指定管理者や関係機関と協議して使えるようにしていくのは可能である。
- A 委員 通年でなくても、学校開放が行事で使えない時期だけでも使えるようにならないだろうか。
- C 委員 学校行事のある時期だけでも日程を決めて、総合体育館を使えるようになる

会議録

と良いと思う。

A 委員 空いているときだけでも良いので使えるよう検討してほしい。

事務局 他の利用者への影響も考えたうえで検討していく。

B 委員 一般開放は年齢分けをしていないため、検討の余地はあると思われる。

D 委員 学校については「公共施設等個別施設計画」に載らないのか。部署が違うから掲載されていないだけなのか。

事務局 学校は教育委員会の所管である。また、今回配布した資料は当課の所管施設のみ抜粋して掲載しているが、原本には市の全施設が掲載されている。

③令和7年度スポーツ事業の報告について

(1) 資料に基づき事務局から説明

(2) 質疑応答

A 委員 「7.スポーツ施設の管理と整備」のDX推進とは何か。オンライン予約を進めていくということなのか。

事務局 今までは本予約と支払いは窓口での対応だったが、オンライン予約やキャッシュレス決済ができるようにするということである。

A 委員 今後、全ての施設で進めていくのか。

事務局 市内と市外で予約受付の開始時期に差を設けているため、運用を検討している。

A 委員 仮予約はネットですることはできるが、本予約もできるようになると良い。

A 委員 「6.スポーツアカデミー事業の展開」のチャレンジジュニアスクールについて、毎年追加募集をしているが、次も最初の募集は1団体3名なのか。

事務局 バスの座席数や引率可能な人数を鑑みて36名定員としている。

A 委員 募集しても手を挙げる団体は限られているということか。

事務局 約10団体が手を挙げている。

A 委員 キャプテンにしたいと考えている3名を優先して出しているが、毎年追加で数人行かせている。

追加したメンバーはキャプテン候補ではないため、迷惑をかけてしまったり、スクールのレベルを下がってしまうのではないかと思ったり、心配である。

本当にキャプテンになるメンバーのみで実施した方が良いのではないか。

事務局 極端に参加者が少ないと効果が得られない事業である。また、団体から5、6名参加して全員が活躍する団体もある。団体によっては1名しか参加できないこともあるが、参加者を当課で線引きするのは難しい。

当課の考えとしては、参加できる余地があるのであればより多くの子どもに参加して、経験をしてほしい。事業の質を高められるかは事業運営をする当課の課題である。

会議録

B 委員 Wi-Fi の貸し出し状況はどのようになっているのか。

事務局 当課所管施設での貸出実績は少ない。地区体育館に関してはほとんど貸出実績がない。

B 委員 総合体育館での貸出実績も少ない。希望する利用者は多いが、現物を見ると接続等に手間がかかるため、使用せず返却される。

C 委員 総合体育館の自動販売機に Wi-Fi がついていた気がする。

B 委員 Wi-Fi はついているが災害時用である。

5. その他

審議会委員の退任について

6. 閉会（午後 7 時 30 分）